

1. Regitine により2分以内に最高血圧35mm Hg 最低血圧25mm Hg 以上下降せるもの (15%)
2. 最高, 血圧のみ35mmHg以上下降せるもの (50%)
3. 最高, 最低血圧共に著変を認めぬもの (50%)

以上の如く抗アドレナリン剤である Regitine に対して高血圧患者の血圧が異つた反応を示すことは興味深いことであり, 多換な因子によつて惹起される高血圧の中には神経性或は内分泌性要因が特に関与しているものがあるということが考えられる。其の他吾々はこれらの各群につき腎機能, 肝機能, 眼底所見, 電解質代謝, N.P.N. コレステロールなどの検査を行いその関係について検討した。

31. 本邦脳卒中死亡率に及ぼす諸要約の統計学的考察

(衛生) 泉 文雄

わが国における脳卒中訂正死亡率に及ぼす自然及び社会的要因の影響について, 部分相関法を用いて検討した。

(I) 平均気温零次の相関では, $r_{12} = -0.561 \pm 0.156$ で, 有意の逆相関である。諸要約を全部同時に一定にすると, $r_{12.3456} = -0.491 \pm 0.156$ で, やはり有意の逆相関である。すなわち, 平均気温の低いほど脳卒中死亡率は高いといいうる。

(II) 人口の都市集中率, 零次では, $r_{13} = -0.187 \pm 0.149$ で, 有意ではない。諸要約を全部同時に一定にしてみると, $r_{13.2456} = +0.321 \pm 0.156$ で, 有意の順相関である。すなわち, 人口の都市集中率の多いほど脳卒中死亡率は高いといいうる。

(III) 一世帯平均人員, 零次では, $r_{14} = +0.726 \pm 0.149$ で, 有意の順相関である。諸要約を全部同時に一定にしてみると, $r_{14.2356} = -0.676 \pm 0.156$ で, 高い有意の順相関である。すなわち, 一世帯平均人員の多いほど脳卒中死亡率は高いといいうる。

(IV) 富の分布零次の相関では, $r_{15} = -0.316 \pm 0.149$ で, 有意の逆相関である。諸要約を全部同時に一定にすると, $r_{15.2346} = +0.134 \pm 0.156$ で, 有意ではない。すなわち, 富の分布は, 影響を及ぼす因子とは考えられない。

(V) 工業化指数, 零次では, $r_{16} = -0.398 \pm 0.149$ で, 有意の逆相関である。諸要約を全部同時に一定にすると, $r_{16.2345} = -0.301 \pm 0.156$ で, 有意ではない。すなわち, 工業化指数は, 影響を与える因子とは思われない。

以上を要約すると, 脳卒中死亡率に対しては, 平均気温と, 一世帯平均人員が強く影響しており, 零次の相関で有意でないようにみえた都市集中率も, 実際には, 影響を与える因子である。富の分布, 工業化指数が零次において因子影響を与えるのようにならぬ。

は, 他の諸要約の介在による, 二次的な関係で, 実際には影響を与える因子ではないようである。

32. 心電図の臨床的研究 第2報 不整脈の統計的観察

(心研) 広沢弘七郎・近藤瑞香・○山田辰一
 渋谷 実・石井節子・沼尾智代子
 (中山内科) 清水房江・浜田 桜・池田 陸
 伊藤明子・季 善順
 (三神内科) 小山千代・阿久津初枝・小林成子
 八木下富子・菅野照子・熊野満栄

過去2年間に東京女子医科大学心研, 中山内科, 三神内科に於て撮影した心電図約10000枚, 7000症例に就いて不整脈に關係する調査を行つた。約7%症例に不整脈を認める。心房細動, 期外収縮は一般に云われる如く高頻度に見られるが, ブロックは予想外に少い。期外収縮の中, 房室性のものは極めて少く, 又心材性期外収縮にはPQ延長, 心室群の aberration 等修飾が多く。教科書風な着眼では診断に迷うことが懸念される。不整脈の種類により疾患特異性の高いものと然らざるものとあり, 心疾患診断上の価値に差がある。特殊な不整脈の個々に就いては別の機会に順次まとめて発表して行く予定である。

特別講演

糖尿病

中山光重

糖尿病は食後の過血糖と糖尿とで診断される。朝食として十分に糖質を摂取した後2時間及び3時間の血糖値が共に140mg/dl以上あるものは糖尿病といえる。

わが国には欧米に比べて糖尿病が少いといわれるが, 上記の診断法で40才以上の者について集団検診してみると約5%の糖尿病患者を見出し, 諸外国に比して必しも少くない。この中自覚症のあるものは少く, 従つて自分で糖尿病を知らないものが多い。

糖尿病は生活環境が関与し, 頭脳労働者に多く, 筋肉労働者に少い。遺伝も勿論重要視されねばならない。

糖尿病の合併症としては高血圧, 心筋障害冠不全, 糖尿病性腎症, 網膜炎等の血管系障害のほか, 肺結核の合併も多い。

糖尿病治療も早期発見早期治療の必要があり, 食餌療法, 薬剤療法が大切である。

食餌療法として古くは糖質制限食が行われたが, 総カロリーを制限する必要はあるが, 糖質のみを制限する必要はなく, 糖質, 蛋白質, 脂肪はバランスのとれた食餌が必要である。

薬剤療法についてはインシュリンの使用法, 抗糖尿病内服薬としてメグロ酸塩, スルファニール尿素剤, グアニジン誘導体の適応症並に使用法についてのべる。